

令和3年度 青森市子ども会議 臨時会議（事前顔合わせ会）

- 1 日時 令和3年6月12日（土）9時30分～12時30分
- 2 場所 青森市中央市民センター 3階大会議室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員7名、子どもサポーター2名、事務局5名
オンライン参加：子ども会議委員6名、子どもサポーター1名
- 4 活動内容 (1) 令和3年度の活動内容説明
(2) 自己紹介
(3) 子どもの権利に関する講義
(4) 令和3年度の活動について

5 開催概要

青森市子ども会議とは、まちづくりをはじめとした市政などに対し、子どもの立場から意見を表明することができるもので、小学5年生から原則18歳までの子どもたちで構成された会です。

今年度は、子ども会議委員21名（小学生5名、中学生4名、高校生12名）と、子どもたちの活動のサポートをする子どもサポーター7名（学生5名、社会人2名）で活動をスタートします。

子ども会議では学年や学校も越えて仲良くなれるほか、いろいろな活動を通じた学習や体験、子どもの権利について深く学ぶことができます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、オンラインも使用した事前顔合わせ会となりました。



令和3年度の活動内容説明

はじめに、事務局から今年度の子ども会議の活動スケジュールについて説明がありました。

今年度は、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった「青森市子ども会議フォーラム」を11月に、活動の締めくくりとなる「活動報告会」を3月に予定しているほか、前から子ども会議委員のみんなから要望があった「他都市とのオンライン交流」が新たに実施できることになりました。

新しい取組もあるので、子ども会議の活動を盛り上げていきたいです。

自己紹介

次に、子ども会議委員及び子どもサポーターが、事前に考えてきた「青森市の好きなおとこ」や「子ども会議でしてみたいこと」などと一緒に自己紹介しました。

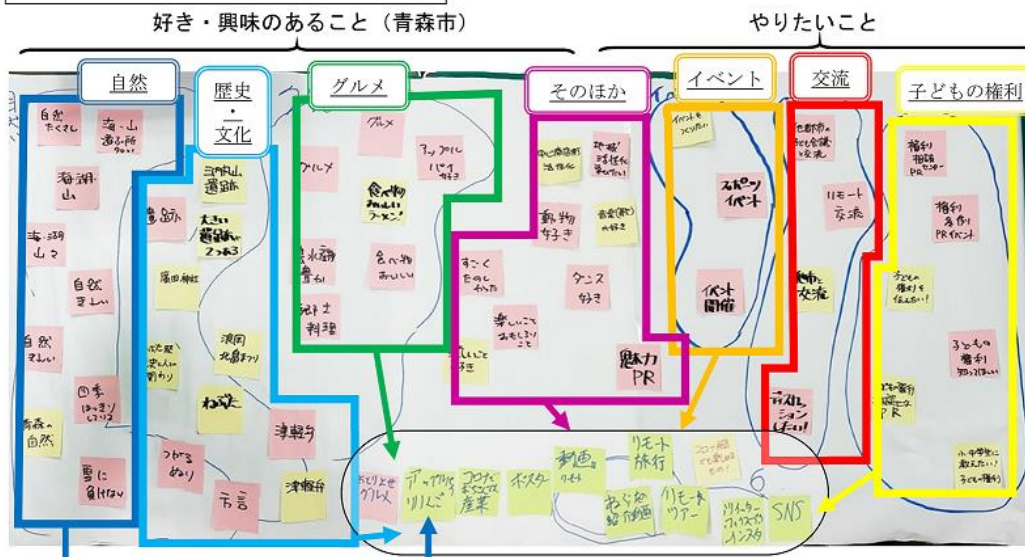
〈青森市の好きなおとこ〉

- ・ねぶた祭や浪岡北畠まつり
- ・海や山など自然がたくさんあり、きれい
- ・ラーメンやリンゴなどグルメが美味しい
- ・三内丸山遺跡と縄文文化
- ・津軽塗や津軽弁などの伝統文化

〈子ども会議でしてみたいこと〉

- ・子どもの権利をもっと知ってほしい
- ・他都市と交流したい
- ・イベントを開催したい
- ・青森市の魅力をPRしたい
- ・ディスカッションしたい

実際に子ども会議委員・サポーターから出た意見



新型コロナウイルスの感染を踏まえ、今年度活動できることは何か？

⇒リモートツアー（旅行疑似体験）や SNS の活用

子どもの権利に関する講義

子どもの権利擁護委員の関谷道夫先生から、初めて顔を合わせた子ども会議委員同士が仲良くなるきっかけとして、ワークショップなども含めた子どもの権利に関する講義をしてもらいました。

ワークショップでは、24時間以内にあった「良かったこと」や「新しい発見」などをシェアして、全員で拍手をする「Good&New (グッドアンドニュー)」や10年後の自分を想像し、未来の自分が今の自分にどんな言葉をかけるか考える「タイムマシン・クエスチョン」などを行いました。みんなのいろいろな考えや意見を聞いて楽しかったです。



令和3年度の活動について

今年度の活動について、まず、「新型コロナウイルス感染症に負けずに、子ども会議では何が出来るのか」を考えました。

すると、コロナ対策で家にいてSNSを見る時間が増えたので、みんなが楽しんで見ているSNSを活用すれば広く活動ができるのではないかと、との声がありました。

- ①SNS (Twitter、Instagram、Facebook など) を活用した情報発信
- ②リモートツアー (旅行疑似体験) として、青森市内を実際の観光者目線で配信

この2つをメインとして、相互に連携を取りながら活動していく方針でまとめました。

発信していく内容については、自己紹介で発表してもらった内容のほか、お取り寄せグルメやねぶたの紹介、ポスター作成や子どもの権利についての周知啓発、青森の名産であるリンゴの食べ比べとしてアップルパイを作成するなど、子ども会議委員の興味のある内容を盛り込んでいくことになります。

次回6月26日は、これらの具体的な内容について話し合い、7月3日の第1回子ども会議の市長発表に向けて準備活動を行っていきます。

